

市民のライフスタイルを提案するまちの風景



まちが、音楽やショーのタレントの「自己実現」の場となる  
東京・亀戸サンストリート



ビジネス街に飲食店などを誘致し、まちのブランドアップを図る  
大阪・淀屋橋



若者に人気、旧電機会社の歴史的建物「新風館」の内部空間  
京都・三条烏丸



インターネットの情報で人々が集まる都市空間「水辺ランチ」  
大阪・中之島

まちの姿なり、機能なり、まちを創造する側に回らなければならぬ。まちなかルネッソンスは、そうして市民を巻き込んでいくことが大事で、それなくして進まない成功もなし。まちづくりの現場での体験に根ざしたみなさんのお話を伺って、つくづくそう感じました。今日は本当にありがとうございました。

**佐藤** まちづくりには重要なコーディネートという仕事は、ボランティアでは続けられませんよね。行政が支援する仕組みも必要でしょう。

**馬場** 僕たちの悩みは継続することでした。最初は「こんな物件を発見」といったことをウェブサイトに書き込んでいたのですが、それだけでは疲れてしまっていて継続しないのです。そこで、宅建免許のある人を連れてきて、不動産仲介業として成立させました。お金の部分で継続性を担保する仕組みを見つけないと、非常に大切で、いま続けているのも、それに早く気づいたからだと思っています。金沢でも同じくR不動産をはじめましたが、人口も少なく物件も多くない。これからどうつなげていくかが課題です。

**馬場** 僕たちの活動をみて、大規模開発には反対でしょと言われることもありますが、逆なんです。大きな資本でダイナミックに都市を動かさないと、東京にも日本にも活力は生まれません。そんな安全で基盤の確かな都市開発と同時に、小回りのきくゲリラ戦のよう

**佐藤** 今日来ていらっしゃる方には開発事業に携わる立場の人も多いと思うのですが、まちづくりと一緒に進めていく上での連携のあり方や、ここが課題だというのがありましたら、少し教えていただきたいと思っています。

**馬場** 僕たちは地方が政策立案主体として統合的なアプローチで課題解決に当たることが大切です。大規模開発と比べて金額はくわすかではあるが「地域再生マネージャー」の制度は、人に金をかけることができるいい制度です。ハード事業ではなくソフト事業で人件費に対して3分の2の補助ができるというのは画期的で、飯田でもこれを活用して、天龍峡という地域の再生を進めています。

**佐藤** これからは地方が政策立案主体として統合的なアプローチで課題解決に当たることが大切です。大規模開発と比べて金額はくわすかではあるが「地域再生マネージャー」の制度は、人に金をかけることができるいい制度です。ハード事業ではなくソフト事業で人件費に対して3分の2の補助ができるというのは画期的で、飯田でもこれを活用して、天龍峡という地域の再生を進めています。

**馬場** 今日来ていらっしゃる方には開発事業に携わる立場の人も多いと思うのですが、まちづくりと一緒に進めていく上での連携のあり方や、ここが課題だというのがありましたら、少し教えていただきたいと思っています。

**佐藤** 今日来ていらっしゃる方には開発事業に携わる立場の人も多いと思うのですが、まちづくりと一緒に進めていく上での連携のあり方や、ここが課題だというのがありましたら、少し教えていただきたいと思っています。

**佐藤** 最後にみなさんが考えられるまちなかルネッソンスで一番大事なことで、そしてこれから進めようとしていらっしゃることはなんですか。

**馬場** 僕たちが死んだ後に、とんでもない箱物、とんでもない再開発を残したといわれたいようなまちづくりをしていくことだと思います。

**馬場** 僕はいまの活動を通して、新しい都市づくりの方法論へのヒントをつかみたいと思います。新しい意識と新しい道具とで、ゆっくり身につけていきたいと考えています。

**佐藤** 最後にみなさんが考えられるまちなかルネッソンスで一番大事なことで、そしてこれから進めようとしていらっしゃることはなんですか。

**佐藤** いままでカリスマというか、強いリーダーシップが地域を引っ張る中に入ると不思議な安堵感がある(笑)。二つが共存できる構図が描けるとより良いのでは。うね。

**佐藤** 市民自身もただ安ければいい、便利であればいいというだけでなく、地元をみんなで育てるという気持がなりたいですね。

**佐藤** 遠田さん、若い人に全部任せると何か悩みはないのですか。

**遠田** ありませんね、任せる以上は、むしろ若い人から教わるという懐の深さがまちづくりに必要なんです。ただひとつだけ注文しているのは、必ず状況を報告しろということ。そして、「君が学校を卒業するときは、こんなに活躍したと推薦状を書いてやるからな」と言っていますよ。

**馬場** 日本橋の場合もカリスマはいまありません。厳密にいうと僕はまちづくりをやっているという意識もないんです。自分たちの表現行動のひとつで、気がつけばまちに貢献しているという感じですね。特徴的なのは多極型多角型になっていることで、やりたい人がそのプロジェクトのリーダーになってネットワークを組んでいる。ですからマスタープランなどありません。情報は共有しますけど、全員のコンセンサスが必要ないというスタンスです。それができるのはメンバーがリストがあるからでしょうね。それで全体の動きを知る、そのなかで自分にとって貴重な情報だけキャッチアップする、そのやり方がいまつばいのです。去年

**馬場** 日本橋の場合もカリスマはいまありません。厳密にいうと僕はまちづくりをやっているという意識もないんです。自分たちの表現行動のひとつで、気がつけばまちに貢献しているという感じですね。特徴的なのは多極型多角型になっていることで、やりたい人がそのプロジェクトのリーダーになってネットワークを組んでいる。ですからマスタープランなどありません。情報は共有しますけど、全員のコンセンサスが必要ないというスタンスです。それができるのはメンバーがリストがあるからでしょうね。それで全体の動きを知る、そのなかで自分にとって貴重な情報だけキャッチアップする、そのやり方がいまつばいのです。去年

**佐藤** 僕たちは地方が政策立案主体として統合的なアプローチで課題解決に当たることが大切です。大規模開発と比べて金額はくわすかではあるが「地域再生マネージャー」の制度は、人に金をかけることができるいい制度です。ハード事業ではなくソフト事業で人件費に対して3分の2の補助ができるというのは画期的で、飯田でもこれを活用して、天龍峡という地域の再生を進めています。

**佐藤** 最後にみなさんが考えられるまちなかルネッソンスで一番大事なことで、そしてこれから進めようとしていらっしゃることはなんですか。

**馬場** 僕たちが死んだ後に、とんでもない箱物、とんでもない再開発を残したといわれたいようなまちづくりをしていくことだと思います。

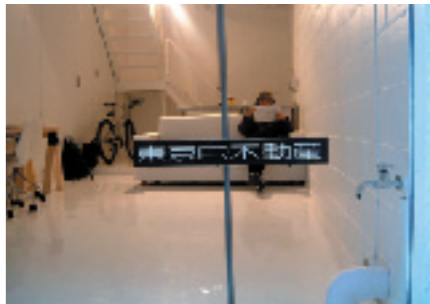
**馬場** 僕はいまの活動を通して、新しい都市づくりの方法論へのヒントをつかみたいと思います。新しい意識と新しい道具とで、ゆっくり身につけていきたいと考えています。

**佐藤** 最後にみなさんが考えられるまちなかルネッソンスで一番大事なことで、そしてこれから進めようとしていらっしゃることはなんですか。

蘇生しはじめた 日本橋界隈



「東京R不動産」Webサイト



フレッシュなイメージを醸し出す「東京R不動産」エントランス



改修によって甦った ビルのファサード



若者たちが頻繁に訪れ 活気が溢れはじめている